



## 夫婦ふたりの時間についてリサーチ！

### 育児が“異性としての意識”を変える!?

## 妻or夫を異性として意識する「男性8割」>「女性5割」

コンビ株式会社（東京都台東区）は、末子の年齢が0～4歳の子どもを抱える共働きの男女516名を対象に、「夫婦ふたりの時間について」の実態調査を行った。夫婦2人の時間や育児に割く時間に対して掘り下げ、男性・女性それぞれの側から見た意識の違いを浮き彫りにするものとなった。

### ■「2人きりの時間の価値…1366円/h」は高い？安い？

「いつまでも恋人みたいな夫婦」。結婚当初は多くのカップルがそうありたいと思うもの。しかし夫婦の環境が変わってくると同時にそのあり方も変わってくるようだ。

小さな子どもがいて、かつ共働きをしている男女に行った今回の調査では、夫婦が1週間に“2人きり”で過ごす時間は平均9時間。1日に換算すると、たった1時間17分ということになる。お互いに仕事があるため別の空間にいることが多く、「食事のときだけ2人きりになる」という夫婦も少なくないのかもしれない。

とはいえ、結婚当初からそうだったわけではないようだ。「子どもが生まれた後の夫婦2人きりの時間について」の設問には、全体で9割の人が「子どもが生まれてから減った」と答えた。「夫婦2人きりの時間」は、その大半が「子どもとの時間」へと変わっていくようだ。

しかし「子育て中の2人きりの時間の意識について」の問いでは、男女共におよそ6割の人が、「子育て中も必要である」と考えていることがわかった（グラフ1）。

また「子育て中に2人きりの時間を作るためにしていること」は、「ベビーシッターを頼む」というのはまだまだ少数派。「子どもを早く寝かしつける」という人がもっとも多く、次いで「何も行ってない」や「両親へ子どもを預ける」という声が多かった。

子育て中も2人の時間が必要と考えていても、「時間を確保するために1時間につき出せる金額」の平均は、「1366円」。「2人きりの時間の価値＝1366円/時間」とも言えるから、実にシビアな数字といえる。

さて夫婦の時間を過ごしていく中で、気になるのがその感覚だ。夫婦は「空気のような存在」と表現されるように、時間の経過と共にお互い異性としての意識はしなくなってしまうのだろうか。

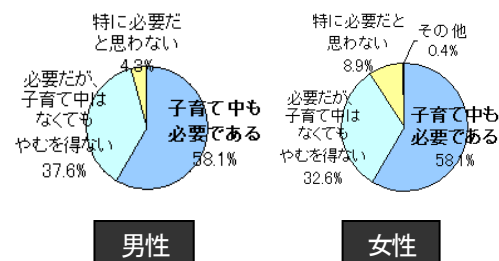
そうした疑問を前提に行った「現在、妻(夫)を異性として意識しているか」の問いに関して、「いつも意識している」36.4%、「ときどき意識することがある」39.9%と答えたのは男性側だ。これは回答した男性の8割弱になる。

それに対して女性は、「いつも意識している」17.1%、「ときどき意識することがある」36.8%で、全体の5割ほど（グラフ2）。

この結果を意外に思った人も多いのではないだろうか。「夫が女性として見てくれない」というのは妻にありがちな悩みだが、実は女性側の方が、「夫を男性として見ていない」のである。

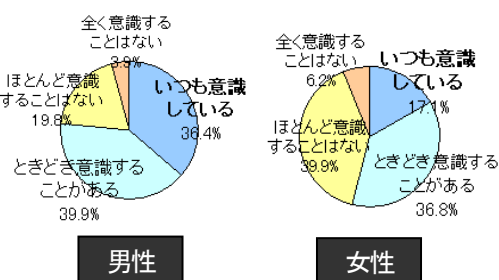
※グラフ1

Q.子育て中も、「夫婦2人きりの時間」は必要だと思いますか？



※グラフ2

Q.妻(夫)を「異性」として意識していますか？



## ■ 育児分担の黄金比率は「妻7:夫3」、2人時間を作っていくまでもトキメキを

果たしていく頃から、お互いを恋人のように“異性と意識”した夫婦ではなくなっていくのか。

「夫婦がいつまで『恋人』でいられるか」の設問では、男女とも**ほぼ5割の人が「子どもができるまで」と答えている**(グラフ3)。

「子どもが生まれてから2人きりの時間が減った」と答えた人が9割、という前述の調査結果からしても、“2人きりの時間”を過ごすことが恋人感覚を忘れないことと、密接に関連していそう。

では2人の時間を作るために、夫婦で育児の分担はどのようにしているのだろう。

調査の中では理想の育児分担に関しては男女とも、「妻:夫=7:3」という比率がもっとも多い回答だった。母親が主体となりつつも父親もサポートすべき、というのは共通認識といってもよい。

しかし、**育児の取り組みについてたずねると、男性は「積極的にやっている」と回答した人がおよそ57.8%**(グラフ4)に上るのに対して、**女性は「頼んだったら手伝ってくれる」という人がもっとも多い46.1%**(グラフ5)。

若干ではあるものの、男女間のサポート認識にも違いが見られた。共働き夫婦を対象とした調査にもかかわらず、女性が答えた理想の育児分担率も「妻:夫=7:3」。しかし実際に外で仕事をして、育児の7割をこなすというのは、やはり相当な負荷であると考えられる。「頼まないで手伝ってくれない」というのが、理想と現実の狭間にある「働く母」の本音なのかもしれない。

家族に新たな命が加わり、父や母になることは、人間的な成長をもたらす、人生の幅を広げるものになる。その一方で、毎日の生活を潤わせる“夫婦のあり方”も忘れないようにしたい。

いつまでもトキメキを大切にする2人であるために、「夫婦2人きりの時間を作る」。そんな時間を大切にしたい忙しいお母さんのために、コンビホワイトレーベル「ロアンジュ」では育児サポートグッズを取り揃えている。

「夫婦ふたりの時間について」の実態調査に関する詳細データは、

**ロアンジュオートスウィングススペシャルサイト**

**<http://www.combibaby.com/goods/spcl/roanju> にて掲載！**

※媒体企画などヘデータの提供ご協力いたします！

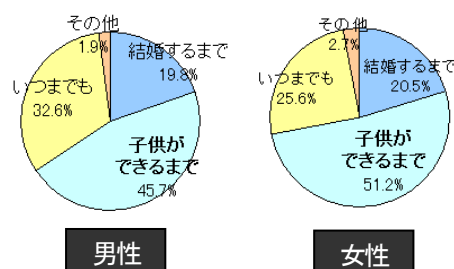
■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください■

コンビ 株式会社 <http://www.combi.co.jp/>

担当: 安藤 / 坂野 TEL:03-5828-7607 / FAX:03-5828-7662 東京都台東区元浅草2-6-7

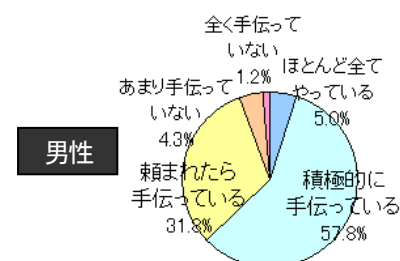
※グラフ3

Q.夫婦はいつまで「恋人」でいられると思いますか？



※グラフ4

Q.「子育て」をどの程度手伝っていますか？



※グラフ5

Q.夫は「子育て」をどの程度手伝ってくれますか？

